

目指す区のすがた(5)



人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち

- 地域ぐるみで支え合う人の和を育み、誰もが笑顔で暮らし続けられるように、安心・安全で快適な生活基盤をつくり、あたたかみあふれるまちを目指します。
- 地域の誰もが次代を担う子どもたちの成長を支え、学び合いを通じて人と人とのつながりが生まれ、広がるまちを目指します。
- 健康づくりに対する意識啓発により健康寿命の延伸を図るとともに、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の中でいきいきと暮らすことのできるまちを目指します。
- 地域課題の解決に向け、区自治協議会や地域コミュニティ協議会、自治会など、住民自治を担うあらゆる主体が連携を深め、一人一人に寄り添う、区民が主役のまちを目指します。

①安心・安全で快適な生活基盤づくり

— 現状・課題・特性 —

防災対策

- 西蒲区は、山や海を有し豊かな自然環境に恵まれている半面、土砂災害や地震による津波被害など、様々な自然災害が想定されるため十分な備えが必要です。
- これまで、避難所への備蓄品の配備や学校における防災教育などを実施してきました。
- 引き続き災害対策に取り組むとともに、防災意識を高めていく必要があります。

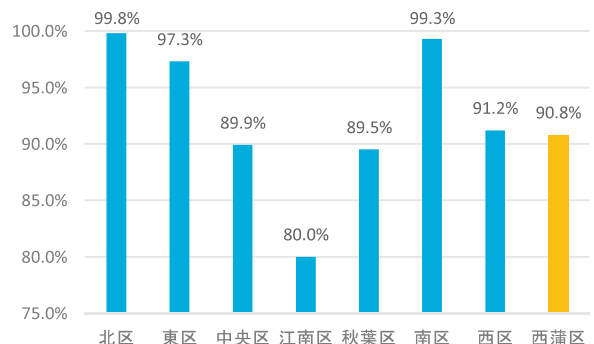
防犯対策

- 近年、還付金詐欺などの特殊詐欺が増加しており、高齢者が多い西蒲区においても発生しています。
- 地域ぐるみでの防犯意識の向上を図っていくとともに、犯罪が起きにくい環境の整備や、地域での見守りを強化していくことが必要です。

防災組織体制

- 災害発生時には、地域住民の相互協力による防災・減災活動が大変重要です。
- 一人暮らしや寝たきりの高齢者など、支援が必要な方について、地域で共に助け合う体制を確立するための支援をしていく必要があります。

自主防災組織結成率



出典:新潟市(令和4年)

交通安全対策

- 全事故に占める高齢者事故の割合が高い傾向にあることから、高齢ドライバーへの交通安全対策を関係機関と連携して実施するなど、交通事故を未然に防止する取組が重要です。

ごみ対策

- 西蒲区の1人1日あたりのごみ量は全区のなかで最多となっており、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の優先順位に従い、廃棄物の減量を進める必要があります。
- 適切な広報を通じて更なるごみ減量と持続可能な循環型社会の実現に向けた取組を推進していく必要があります。

生活排水・污水处理

- 西蒲区では、下水道や合併処理浄化槽など污水处理施設の普及率が低く、河川などへの影響が懸念されます。
- 衛生的で良好な生活環境の確保と水環境の保全を図るため、地域の実情に応じた、下水道と合併処理浄化槽の役割分担による污水处理施設の整備を推進する必要があります。

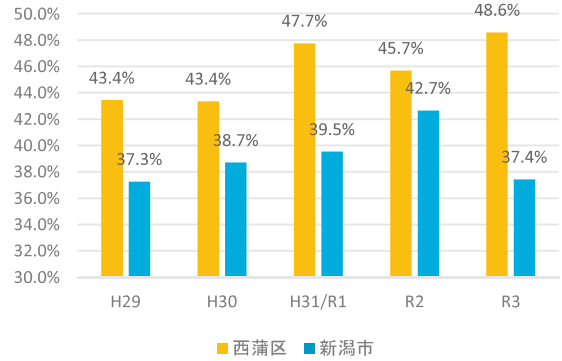
環境保全・環境学習

- 次世代を担う子どもたちが西蒲区の豊かな自然環境を誇りに思い、その恵みを大切に思う心を育むために、学校・家庭・地域社会が連携して「未来を創る力」と「環境に配慮できる行動」を導く環境学習が重要です。
- 引き続き西蒲区の自然環境を保全していくため、時代に応じた啓発事業を進めていく必要があります。

空き家対策

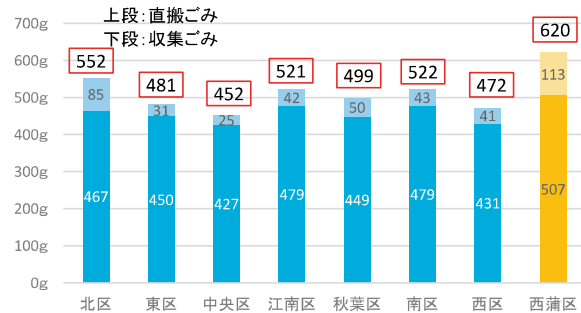
- 人口減少の進行などに伴い、今後も空き家の増加が見込まれます。
- 管理が適切に行われておらず、周辺に悪影響を与える空き家についての対応や、活用できる空き家の対応など、関係者・関係機関との協力体制づくりが必要です。

全事故に占める高齢者事故の割合



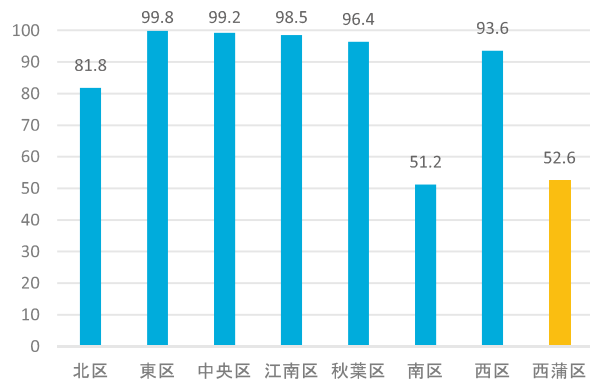
出典:新潟市

各区における1人1日あたりのごみ量(g)



出典:令和3年度家庭系ごみ・資源の排出量区別内訳(令和3年:新潟市)

污水处理人口普及率(%)



出典:污水处理人口普及率(令和3年:新潟市)

方針1 災害対策の強化

- 土砂災害や地震による津波被害など、様々な自然災害に備えるため、危険箇所の点検や避難所運営体制の推進に取り組みます。
- 災害発生時には、地域住民の相互協力による自助・共助が必要となるため、防災意識の普及啓発や自主防災組織の活動支援に取り組みます。

施策の方向性

- 危険箇所の把握と住民への周知
- 避難所運営体制の推進
- 防災教育などによる防災意識の普及啓発
- 防災士の育成支援
- 自主防災組織の結成促進と活動支援
- 名簿整備などによる避難行動要支援者の把握と避難支援関係者への情報提供
- 要支援者個別避難計画作成の推進



新潟市総合ハザードマップ

方針2 防犯・交通安全対策

- 高齢者を中心とした防犯意識や交通安全意識を向上させるため、情報提供に努めるとともに啓発活動を推進します。
- 地域住民による防犯・交通安全の推進に向けたボランティア活動を支援します。

施策の方向性

- 防犯・交通安全運動などによる意識啓発
- 地域企業などによる「ながらパトロール」の推進
- 地域の防犯活動、交通安全活動の支援
- 地域による防犯灯設置などへの支援



高齢者向けサポカー体験

方針3 暮らしやすい環境整備

- 暮らしやすい環境整備のために快適な生活基盤づくりを進めます。
- 資源循環型社会の実現に向けたごみの減量化とリサイクルの推進、地域の実情に応じた下水道と合併処理浄化槽の役割分担による污水处理施設の整備を推進します。
- 子どもの頃から環境に配慮できる行動を導くため、環境学習を推進します。
- 年々増加している空き家の利活用などに取り組みます。



角田浜海水浴場での一斉清掃の様子

施策の方向性

- ごみ問題に対する市民意識啓発
- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動の推進
- 下水道や合併処理浄化槽など污水处理施設の整備推進
- 環境学習の推進
- 周辺に悪影響を与える空き家について、地域と情報共有



河川美化啓発ポスターコンクール入賞作品(令和3年度)

②支え合い学び合う人の和づくり

— 現状・課題・特性 —

子育て環境

- 核家族化や共働き家庭、ひとり親家庭の増加などにより、子育てにかかる負担の増加や地域の繋がり希薄化が懸念されるなか、子育てと仕事の両立に向けた取組など、子育て家庭への支援が求められています。
- 子育てをしている親の孤立や育児不安を解消するため、各種相談や情報提供などの支援体制の強化が必要です。



西蒲区「妊娠・子育てほっとステーション」

子どもの居場所整備

- 核家族化と共働き家庭の増加により、子どもが下校後に家で一人きりになる問題が生じており、放課後児童クラブなどのニーズが拡大しています。
- 遊びや学習を通した子どもたちの健やかな成長や、安心して過ごせる子どもの居場所づくりが求められています。

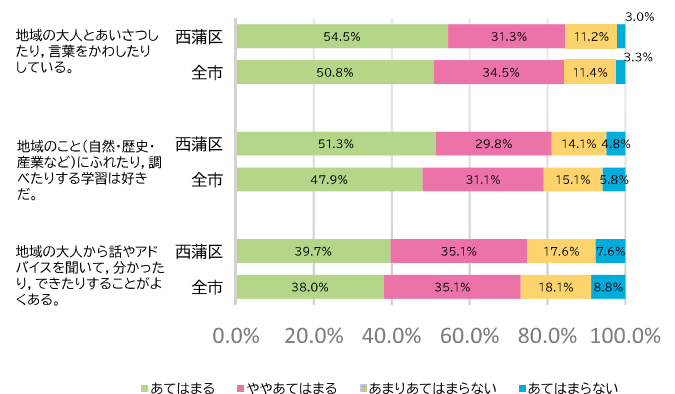


岩室地域児童館

「地域ぐるみの学び合い」の充実

- 「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」を推進し、地域の力を活かした教育活動を行ってきたことで、子どもたちの学びが充実し、地域への愛着も育まれてきました。
- 今後は、次代を担う子どもたちの成長を支えるために、これまでに築いてきた土台の上に、地域と学校の関係の深化を進めることが重要です。
- 一方で、少子化により学校と直接的な関わりを持たない世帯が増え、地域住民に学校に対する関心やつながりの希薄化が懸念されます。

児童生徒の意識調査



出典：「新潟市生活・学習意識調査」
 小学校児童・中学校生徒の回答の合計
 (令和3年：新潟市)

生涯学習

- 生涯学習に対するニーズが多様化しており、さまざまな課題に対応した学習情報や学習機会の提供が求められています。
- 学びの環境を向上させるため、公民館や図書館などの機能充実を図っていく必要があります。
- 区民の学習成果を人づくりや地域づくりに活かし、地域の支え合いや活性化につなげていく必要があります。



大人カレッジ

— まちづくりの方針 —

方針1 子育てを応援し合える環境づくり

- 子育て家庭を支援するとともに、子どもの健やかな成長につなげるため、放課後児童クラブなどの子どもの居場所づくりを推進していきます。
- 保育園の乳児受け入れや延長保育、休日保育の実施、子育てに関する各種相談ができる子育て支援センターの運営など、総合的に子育てを支援していきます。

施策の方向性

- 子どもの居場所づくりなど、放課後児童の健全育成の推進
- 保育サービスの拡充
- 子育てに関する相談体制の充実、事業の実施



子育て支援講座「親子の絆づくりプログラム」

方針2 地域との連携による開かれた学校教育の推進

- 地域・保護者・学校が、育てたい子ども像や教育の理念・方向性を共有し、目標の実現に向けた協働を進められるように、「地域とともにある学校」づくりを支援します。
- 子どもたちが地域への誇りや愛着をもち、地域課題への理解を深めることで、将来的な人口流出の抑制や人材のUターンにつながるように、地域と学校の連携を一層推進します。

施策の方向性

- 地域・保護者・学校が共に教育を考える参画型システムの深化
- 自分の力に自信をもち、地域を誇れる子どもの育成



地域の大人に米づくりを学ぶ様子

方針3 生涯学習の推進

- 区民の多様な生涯学習活動を促進するため、公民館や図書館の事業充実を図ります。
- 区民の学習成果を人づくりや地域づくりに活かし、さらなる活動の活性化につなげるため、公民館が中心となって各団体の連携を図り、活動を支援します。

施策の方向性

- 各種生涯学習活動の推進
- 家庭教育、高齢者学級など、各種生涯学習講座の開催
- 地域コミュニティ活動の支援



長寿大学の様子



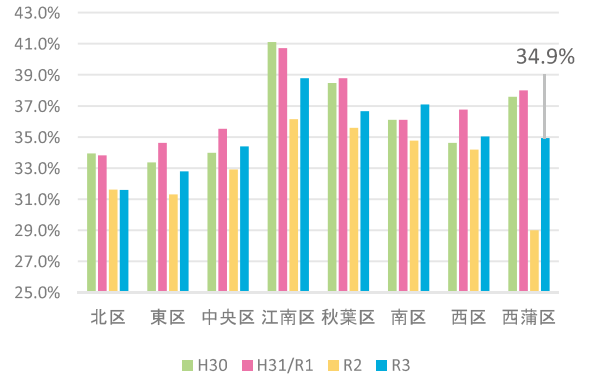
③健康づくりと地域の支え合い

— 現状・課題・特性 —

生活習慣病予防と健康増進活動

- 西蒲区は、脳血管疾患が原因で亡くなる人の割合が、全国平均の約1.35倍であり、市内8区中最も高いという健康課題があります。
- 脳血管疾患は、介護が必要となる主な原因の一つでもあり、健康寿命延伸のためには、脳血管疾患をはじめとする生活習慣病の予防・早期発見と健(検)診の受診率向上など、区民一人一人が主体的に健康づくりに取り組むことが必要です。
- 子どもから高齢者まで区民一人一人の健康増進を推進するとともに、地域全体で健康づくりに取り組むことが求められています。

特定健診受診率

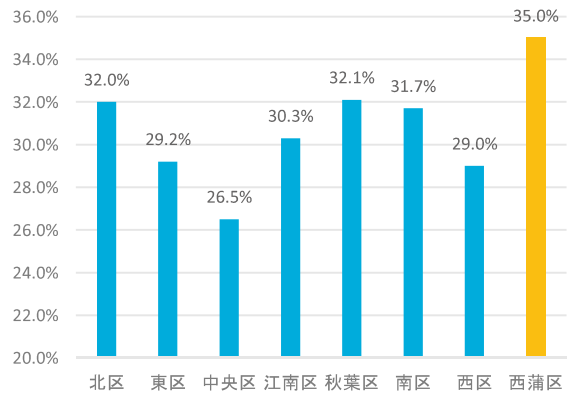


出典：特定健診実施状況(新潟市)

高齢者支援

- 西蒲区における高齢化率は、35.0%(令和2年国勢調査)と市内で最も高く、3人に1人以上が高齢者となっています。高齢者が健康で生きがいをもって社会参加できるよう、より充実した施策の展開が求められています。

高齢化率



出典：国勢調査(令和2年：総務省)

自分らしく安心して暮らせる 健康長寿社会の実現

- 高齢者が住み慣れた地域で、人や社会とつながり、健康で生きがいを持ち、いつまでもいきいきとした生活ができるよう、支え合いによる生活支援や疾病・介護予防を推進し、自分らしく安心して暮らせる地域をつくっていくことが必要です。

障がい者支援

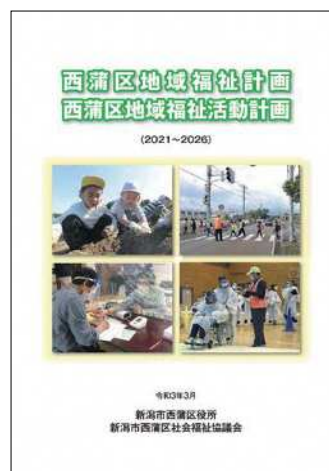
- 障がいの有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重しながら安心して暮らすことのできる共生社会の実現には、障がいへの理解や交流を深める取組が必要です。
- 障がい児・者が地域で社会参加しながら安心して自立した生活を送れるよう、適切なサービス提供や相談体制の充実に努める必要があります。



防災体験学習での車イス体験の様子

地域福祉

- 高齢者や障がい者などが地域で孤立することのないよう、顔の見える関係づくり・支え合う地域づくりが求められています。
- 自主的・自発的な福祉活動を推進するためには、地域のきずなが重要であり、地域のリーダーや助言を行うコーディネーターなどの育成も重要です。



西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画

方針1 健康寿命の延伸

- 身体面の健康をはじめ、人々が生きがいを感じ、安心して心豊かな生活を送れるまちづくりを進めるため、西蒲区の自然や観光資源などを活かした健康増進プログラムを推進します。
- 超高齢社会を迎え、できるだけ介護を必要とせず日常生活を送ることのできる「健康寿命」の延伸が重要なことから、西蒲区の健康課題に焦点をあてた施策を推進するとともに、各年代への意識啓発を行います。



健康づくり教室の様子

施策の方向性

- 自然環境を活用した健康増進プログラムの推進
- 区民の自発的な健康増進活動を支援
- 特定健診、がん検診など各種健(検)診受診の啓発
- 健康課題である脳血管疾患の予防についての啓発
- 食生活改善推進委員や運動普及推進委員の地域活動などによる意識啓発
- 保育施設、学校、地域コミュニティ協議会など地域団体と連携した健康相談、健康教育の推進



にしかんウォーキング手帳

方針2 高齢者や障がい者の社会参加の推進

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、民生委員・児童委員、自治会、自主防災組織などとの連携を強化し、高齢者や障がい者などを地域全体で支える地域共生社会を推進し、在宅での生活や社会参加を支援します。

施策の方向性

- 地域包括ケアシステム(高齢者を支えるネットワーク)の深化
- 地域包括支援センターによる総合的な高齢者支援の実施
- 重層的支援体制の構築
- 介護予防の推進
- 高齢者及び障がい者のための各種福祉サービスの提供



地域の茶の間の様子

④あなたもその一人。協働のまちづくり

— 現状・課題・特性 —

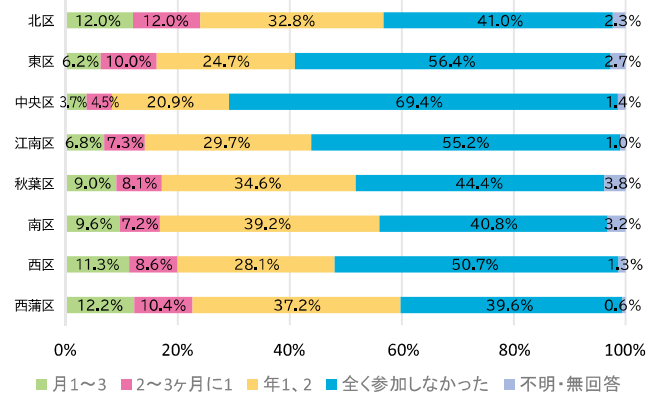
持続可能な地域づくり

- 人口減少や高齢化などにより、地域活動への参加者減少や区民間のつながりの希薄化などがみられ、地域の共助・互助機能の低下が懸念されています。
- 一方、区民ニーズは年々多様化・複雑化しており、地域と協働して課題解決に取り組むことが求められています。
- こうしたことから、地域の課題解決に向け、地域自らが考え実行できる地域力を向上させるとともに、地域と行政の協働をさらに深め、持続可能な地域づくりを推進する必要があります。

西蒲区自治協議会

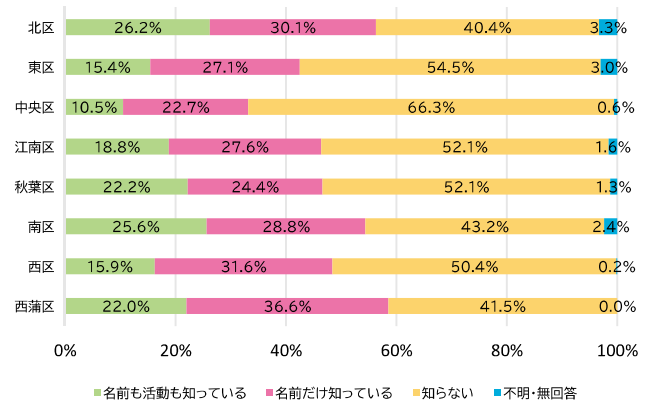
- 区自治協議会は、区民と行政の「協働の要」として、地域課題の解決に向け、地域の多様な意見の調整・取りまとめや、委員提案による事業を実施してきました。
- 今後は、地域コミュニティ協議会などの地域団体との連携強化が望まれるとともに、将来の担い手育成に向け、区自治協議会の取組を区民に広く周知するなど、活動の深化が必要です。

地域活動への参加状況



出典：第47回 市政世論調査(令和2年:新潟市)

区自治協議会の認知度



出典：第47回 市政世論調査(令和2年:新潟市)

地域コミュニティ協議会

- 西蒲区には、9つの地域コミュニティ協議会があり、区民による主体的なまちづくりを推進するため、地域の核として地域課題の解決に向けた活動に取り組んでいます。
- 一方で、役員の高齢化や活動の担い手不足が大きな課題となっています。
- 今後は、地域コミュニティ活動の更なる活性化のために、自主・自立性を尊重した活動支援や地域人材の育成支援が重要です。

窓口サービスの向上

- 多くの人が利用する区役所として、親切・丁寧な対応を徹底することや、窓口の利便性を高めることで、市民満足度の向上を図る必要があります。
- 今後とも、多様な区民ニーズに対応するためにも、職員一人一人の能力が十分に発揮できるよう人材育成に取り組む必要があります。

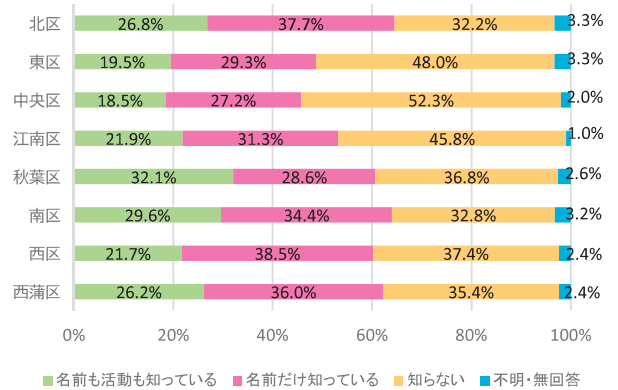
区民意見の反映・区政情報の発信

- 区民との協働を推進するため、一人一人の人権が尊重され、その声に耳を傾けることができるよう、区民との意見交換や区民意見を集める取組を進めていく必要があります。
- 区政情報や区内イベントの周知のために、多様な広報媒体を活用した情報発信を行う必要があります。

西蒲区役所庁舎

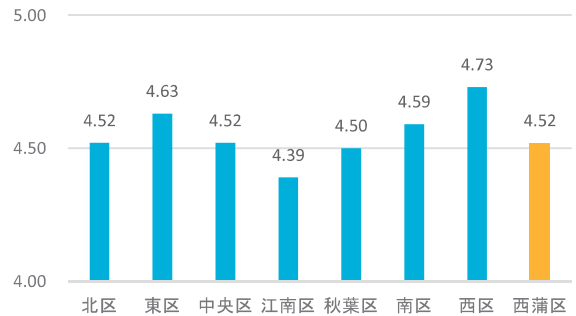
- 昭和36(1961)年に建築された西蒲区役所の庁舎は築後60年を経過しています。
- 安心・安全な暮らしを支える行政の拠点施設として、十分な機能を確保していく必要があります。

コミュニティ協議会の認知度



出典：第47回 市政世論調査(令和2年：新潟市)

窓口アンケート全体平均点



出典：令和元年度第1回窓口アンケート結果(令和元年：新潟市)



区長と語る「まちづくり懇談会」

— まちづくりの方針 —

方針1 地域活動の活性化と協働の推進

○協働の要である区自治協議会及び各地域コミュニティ協議会をはじめ、自治会・町内会など、地域活動に取り組む団体の活動を活性化させるとともに、団体同士や行政との連携を深め、協働によるまちづくりを推進します。

施策の方向性

- 区自治協議会における活動の活性化
- 地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などの活動支援
- 各地域コミュニティ協議会の連携の推進と情報交換の場づくり



区自治協議会の様子

方針2 地域人材の育成支援

○持続可能な地域となるために、区民自らが課題を探り解決への手順を学ぶ場の提供や、多世代への地域活動の啓発など、地域人材育成を支援することで、区民が主役となるまちづくりの推進を図ります。

施策の方向性

- 区自治協議会、地域コミュニティ協議会に対する研修の充実
- まちづくりに関する各種講座の開催
- 地域活動の先進事例に関する情報の蓄積と情報発信



地域コミュニティ協議会を対象とした研修会の様子

方針3 地域のための区役所づくり

- 区民に寄り添った行政サービスを提供するため、親切・丁寧な窓口・電話対応を徹底するとともに、手続のオンライン化などによる利便性向上を図ります。
- 性別、年齢、障がいの有無、国籍、出身、性的指向、性自認、価値観などにかかわらず、あらゆる人の人権が尊重されるように、啓発に努めます。
- 区民一人一人の声を大切にするとともに、より多くの区民に情報を届けるため、多様な広報媒体による情報発信を行います。
- 防災の拠点機能を高めるため、庁舎の建替に向けた具体的な検討を進めます。



西蒲区 区役所だより

施策の方向性

- 「共感・信頼・協働」の西蒲区サービス憲章に基づく区役所運営
- 男女共同参画・人権啓発の推進
- 区長との懇談会などをはじめとした多様な方法による区民意見の把握
- 区役所だより、区ホームページ、各種SNS、コミュニティFMや地域防災無線など、多様な広報媒体による積極的な区政情報発信



西蒲区役所庁舎